

# ファミリーロードマップ用語集

この用語集は、教育現場でよく使われる用語のリストです。これには、学校や教育に関する一般的な用語の簡単な定義と説明が含まれています。このリソースは、お子様の教育をよりよく理解するのに役立ちます。

## After-school Programs (放課後のプログラム)

放課後のプログラムとは、通常の学校の授業時間外に行われる活動のことです。これらのプログラムは、生徒が新しいことを学べるように設計されています。また、保護者が仕事に出ている間、生徒たちが楽しく安全に過ごせる場所でもあります。放課後のプログラムには、スポーツチーム、美術クラス、音楽レッスン、家庭教師などがあります。お子様がこれらのプログラムに参加する必要はありません。それらはオプションです。

## Attendance (出席)

出席とは、定期的に通学することです。お子様は毎日学校に行くべきです。病気の場合、または別の重要な理由で学校を休む必要があります。学び、友人と一緒にいるためには、学校にすることが重要です。お子様が学校を休むと、遅れをとってクラスでの楽しいアクティビティに参加できなくなる可能性があります。詳細については、[Ohio Department of Education and Workforce のウェブサイトにある「Attendance Support \(出席サポートページ\)」](#)をご覧ください。

## Career Technical Education (CTE : キャリア技術教育)

CTE は、生徒がさまざまな職業や仕事に就くためのスキルや知識を学ぶための教育です。生徒は、テクノロジー、ヘルスケア、エンジニアリングなど、さまざまな科目で実践的かつ実践的なスキルを学ぶことができます。生徒がさまざまなキャリアの選択肢を模索し、将来の成功に役立つ貴重な経験を積むための方法です。

## Dual Language Learner (SDLL : 二重言語学習者)

早期ケアと教育システムでは、二重言語学習者は出生時から同時に2つ以上の言語を学ぶか、第一言語を学んだ後に第二言語を学んでいます。この用語は、まだ幼稚園に入学していない児童に使用されます。彼らは母国語の基本的な語学力と、第二言語あるいは新しい言語としての英語を習得しています。

## Education levels (教育レベル)

学生にはさまざまな教育レベルがあります。主なレベルは 就学前教育、小学校、中学校、高校、中等後教育の5つの主なレベルがあります。詳しくは [USA Hello のウェブサイト](#) をご覧ください。

## Preschool (プリスクール)

プリスクールは、幼稚園に通う前の幼児が遊び、学ぶために通う学校です。児童は通常、3歳から5歳の間にプリスクールに通います。プリスクールに通うことで、児童は学校の日課に慣れることができます。また、同年代の人たちと一緒に学んだり、楽しい活動に参加したりすることもできます。この年齢になると、二言語学習者 (Dual Language Learners) と認定されることもあります。

児童が幼稚園に通うためには、家庭が費用を負担しなければならないこともあります。[Head Start program \(ヘッドスタートプログラム\)](#) を通じて、低所得世帯のための無料の就学前オプションがあります。プリスクールの児童は、他の子どもたちとの付き合い方を学び、幼稚園に行く準備をします。就学前は、教師や家族が特別な学習や発達の必要性を認識する時期でもあります。家族と幼稚園の教師が一緒になって、幼児の特別なニーズをサポートする医療、学習、その他のサポートを見つけることができます。Ohio州では、[Help Me Grow プログラム](#) が幼い児童の家族に多くの支援を提供しています。

## Kindergarten (幼稚園)

児童は5歳頃に幼稚園から公立学校に通い始めます。幼稚園のクラスは、短時間（半日）または長時間（全日）の場合があります。幼稚園の半日クラスは、午前または午後に行われます。園児が幼稚園のクラスで過ごす時間は、学区によって異なります。

## Elementary School (小学校)

児童は幼稚園から小学校5年生まで通います。ほとんどの生徒は10歳で小学校を卒業します。幼稚園卒業後、翌年は1年生になります。

小学校の生徒通常、1つの教室で1人の教師からさまざまな教科を学びます。ライティングと数学のスキルを身につけ、読解力、批判的思考、問題解決力を学びます。

## Middle School (中学校)

中学生になると、生徒は11歳から13歳くらいになります。小学6年生から始まり、中学2年生で終わります。中学生は通常、異なる科目のために異なる教室に行き、1日の授業で異なる教師がいます。

## High School (高校)

生徒は通常、14～18歳で高校に進学します。もっと助けを必要としている生徒の中には、22歳まで高校に通うことができる生徒もいます。

高校は9年生から始まり、12年生で終わります。授業は科目別に行われます。生徒には通常、1日を通して異なる教師がいます。一部の生徒は上級クラスを受講し、仕事や大学の準備をすることができます。生徒は、高校の[キャリア技術教育プログラム](#)に参加することもできます。高校にはクラブ、スポーツ、その他の活動もあります。

高校では、各学年には次の名前があります：

- Freshman year (新入生：9学年)。
- Sophomore year (2年生：10学年)。
- Junior year (3年生：11学年)。
- Senior year (4年生：12学年)。

## Education Rights (教育権)

米国では、人種、宗教、その他の個人的特徴にかかわらず、すべての人が平等な機会と法的保護を受けることを保証するために公民権が創設されています。公民権の例としては、公教育を受ける権利、投票する権利、政府からの援助を受ける権利、公共スペースを使用する権利などが挙げられます。公民権は、学生や家族が教育を受ける権利の基盤です。

英語サポートを受けている家族や学生には権利があります。つまり、お子様が学校で学び、成功するための決断と行動ができるということです。これらの権利は、あなたを含め、親ご様やご家族が公平に扱われ、お子様が可能な限り最高の教育を受けられるようにするために重要です。

## Enrollment (登録)

登録とは、児童を学校に登録することです。クラブやチームに参加するようなものですが、代わりに学校に参加することになります。それはお子様がその学校の生徒になることを意味します。5歳から18歳までのすべての児童は学校に入学する必要があります。

## English Learner (英語学習者)

学校は、複数の言語を話し、英語のテストスコアが読み書きまたは話す能力レベル未満の生徒にこの用語を使用することができます。これらの生徒は学校に入学し、英語を話し、読み、書き、理解できるようになるための指導やその他の支援を受けます。英語学習者である学生は、通常、自宅で英語以外の1つ以上の言語を話します。

## English Language Supports (英語サポート：英語力向上のための特別サポート)

どの学校も、英語力の向上が必要な生徒には特別な支援を提供しなければなりません。学校によって英語の教え方は異なることがあります。毎年、お子様は英語力をチェック

するテスト（Ohio English Language Assessment : Ohio 州英語力評価）を受けます。  
お子様はテストに合格するまで英語サポートを受けることができます。

英語サポートには、以下のようなものがあります：

- 英語を学ぶためのクラス。
- 科学や数学などの通常の授業中に、生徒が学習内容を理解できるように特別な手助けをします。

## English Language Proficiency (英語能力)

英語力とは、英語を上手に話し、理解し、読み、書くことができることを意味します。学校は、生徒がどの程度英語を使えるかをチェックするために、テスト（Ohio English Language Proficiency Assessment のようなもの）を利用します。上手くなるには時間と練習が必要です。英語力がある人は、英語でうまくコミュニケーションをとることができます（スピーキング、リーディング、ライティング、理解）。

## Extracurricular Activities (課外活動)

課外活動とは、お子様が通常の学校生活以外に参加できる活動のことです。これらの活動には、スポーツ、音楽、クラブ、ボランティアなどがあります。お子様が新しい友達を作り、新しいスキルを身につけ、楽しい時間を過ごす手助けをしてくれます。これはまた、活動的で健康的でいるための素晴らしい方法です。

## Family Liaison (ファミリーリエゾン)

ファミリーリエゾンとは、複数の言語を話し、家庭と学校が協力し合えるよう手助けをする人のことである。保護者、教師、学校と協力し、全員がお互いを理解し合えるようにします。これは生徒が学校でベストを尽くすのに役立ちます。

## Financial Aid (ファイナンシャルエイド)

米国における学資援助とは、大学や職業技術教育など、高校卒業後の教育費を援助するための資金です。この資金は政府、学校、民間団体から提供されます。助成金、ローン、

ワークスタディジョブ、奨学金として支給されることもあります。連邦政府援助を申請するには、学生は [FAFSA \(Free Application for Federal Student Aid\)](#) に記入する必要があります。

## Free and Reduced Meals (無料給食と減額給食)

無料給食と減額給食は、生徒が学校でほとんど、あるいは無料で食べられる食事です。低所得家庭は、これらの食事を受ける資格があり、申請することができます。米国教育省のプログラムにより、各州はこれらの給食や所得の低い家庭へのその他の支援に必要な資金を提供しています。

## Gifted Education (英才教育)

Gifted Education とは、特定の教科に才能のある生徒のために特別なクラスやプログラムを提供することです。これらのクラスは、生徒がより多くを学び、自分の能力に合った方法で挑戦する機会を与えてくれます。

## Grades (成績)

成績とは、教師が生徒の授業に対する成績です。この成績表は、生徒がどれだけ理解し、課題を完了したかを示すものです。学年を通じて、お子様の学習状況を把握することができます。通常、成績が高いほど学業も良好です。成績が低いほど、お子さんが向上が期待される分野が示されている可能性があります。

## Home School (ホームスクール：家庭学習)

Ohio 州に在住する親は、子供を学校に通わせる代わりに家庭で教育することを選択できます。地元の学区の学長に伝え、ホームスクーリングに関する Ohio 州の法律の規則に従うだけで済みます。詳しくは、Ohio Department of Education and Workforce ウェブサイトの [「Home-Schooling \(ホームスクーリング\)」のページ](#)をご覧ください。

## Home Language Survey (Language Usage Survey) (言語使用状況調査)

Language Usage Survey は、家庭で話す言語を知るために学校が使用する用紙です。ご家族はこのフォームを使用して、使用言語は何かを共有することができます。学校は、このフォームの情報を使って、家族の使用言語に関する情報を共有する必要があります。家庭で英語以外の言語を使用している家庭の生徒は、英語力を向上させるために特別な支援が必要かどうかを確認する必要があることがあります。

## Interpretation (or Translation) (通訳または翻訳)

通訳または翻訳とは、ある言語から言葉や文章を取り出し、それを別の言語で書いたり、話すことを意味します。それは、異なる言語を話す人々がお互いをよりよく理解するのに役立ちます。

## Interpreter (or Translator) (通訳者または翻訳者)

通訳者または翻訳者とは、ある言語で誰かが言ったり書いたりしたものを別の言語に変える人のことです。これは、異なる言語を話す人々がお互いを理解するのに役立ちます。

## Mental Health (メンタルヘルス)

体を大切にすることと同じように、心も大切にすることが大切です。メンタルヘルスとは、私たちがどう感じ、どう考えるかに関わるものです。感情、行動、学習方法などが含まれます。生徒が良いメンタルヘルスを保てば、幸せと自信を感じることができます。また、学校での成績も良く、家族や友人との関係も良好です。

## Ohio Department of Education and Workforce (Ohio 州教育労働省)

Ohio Department of Education and Workforce は、Ohio 州の児童を教える学校を監督しています。Ohio Department of Education and Workforce は、子供たちが確実に学び成

長できるよう、学校や教師を支援するために協力する人々の組織である。学校がベストを尽くせるよう、規則を制定し、指導します。

## Ohio English Language Proficiency Assessment (OELPA : Ohio 州英語能力試験)

OELPA は、英語学習者とみなされる生徒に実施されるテストです。このテストは、生徒がどれだけ英語を聞き、話し、読み、書くことができるかを教師が理解するのに役立ちます。また、教師が自分の語学力を向上させる方法を知るのにも役立ちます。このテストは、英語学習の特別な手助けが必要な生徒にとって重要です。生徒がこのテストを受けるたびに、学校はその結果を家庭と共有しなければなりません。

## Alternate Ohio English Language Proficiency Assessment (Alt-OELPA : 代替 Ohio 州英語能力評価)

Alt-OELPA は、小学校高学年から高校3年生までの英語学習者で、著しい認知障害を持つ生徒が、どの程度英語を理解し使用できるかを測定するテストです。このテストは、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を見るもので、学業に必要な英語も含まれます。Alt-OELPA は、このような生徒たちに、英語学習に対するさまざまな期待に基づくテストで、生徒が自分の知っていることを示す機会を与えます。

[Ohio Department of Education and Workforce の Alt-OELPA ページ](#)をご覧ください。

## Ohio English Language Proficiency Screener (OELPS : Ohio 州英語能力試験)

OELPS は、生徒が英語学習者とみなされ、英語学習の支援が必要かどうかを判断するために学校が使用するテストです。通常、生徒がこのテストを受けるのは、家族が「Language Usage Survey (言語使用状況調査)」に回答した後か、生徒の家族が家庭で英語以外の言語を使用していることを学校が把握した場合です。

## School District (学区)

学区とは、同じ地域に属する学校の集まりです。彼らは、その地域のすべての生徒が良い学校に行けるように協力しています。それぞれの学区には独自の規則があり、学区内のすべての学校の決定を下す指導者がいます。

## Special Education (特別支援教育)

特別支援教育プログラムは、身体的、精神的、またはその他の障がいを持つ生徒に支援を提供します。特別支援教育が必要な生徒は、普通学級での学習が困難な場合があります。別の教室でサポートを受けることもできます。これは彼らが教育で成功するためです。これは、彼らにとってより良い方法で学ぶのに役立ちます。

## Summer Camp (サマーキャンプ)

Summer Camp は、子供たちが学校の夏休みに行く場所です。スポーツ、アート、クラフト、ゲームなど、楽しいアクティビティができます。新しい友達もできます。安全で監視された環境で新しいことを学ぶことができます。

## University (or College) (大学またはカレッジ)

大学またはカレッジは、生徒が高校を卒業した後に学生として学び続けるために行く教育機関です。学生は、将来就きたい仕事に備えて授業を受けます。大学は高校よりも規模が大きく、教室や図書館、寮など、学生が通うための建物が多くあります。

## Virtual Learning (or Remote or Online Learning) (バーチャル学習またはリモート学習、オンライン学習)

バーチャル学習とは、生徒がコンピューターやインターネットなどのテクノロジーを使って学習することです。生徒がバーチャル学習を利用するのは、オンラインで学習したり課題をこなしたりする場合です。バーチャル学習は、学校でも、自宅でも、図書館でも、地域社会の他の場所でも行うことができます。

## Vocational Training (or Career Technical Education) (職業訓練 またはキャリア技術教育)

職業訓練は、生徒が高校在学中に参加できるもうひとつのタイプの教育プログラムです。プログラムは通常、溶接、安全、農業、接客業、建設業、医療など、特定の職業に就くための訓練に重点を置いています。これらのプログラムでは、コンピューターの修理や料理の仕方など、特定のスキルを学ぶこともできます。

これらのリソースは、Ohio 州の多言語学習者の学業、学生のウェルネス、大学およびキャリアの成果を高めることを目的としています。このリソースは、Ohio Department of Education and Workforce と The Ohio State University の Center on Education and Training for Employment が、家族のサポート者、地域社会のリーダー、学区のスタッフ、教師の献身的なグループと協力して作成したものです。